



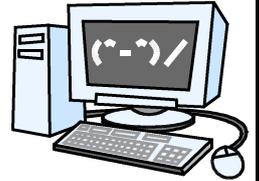
令和3年度
学校便り
12月号

清流

はばたく
吉尾小！
大作戦

芦北町立吉尾小学校
校長 徳成 聡
令和3年12月10日

これからの社会を主体的に生きるために 「プログラミング教育」の取組



令和2年度から、全国の学校で「プログラミング教育」に取り組んでいます。

「プログラミング教育」は、AI（人工知能）等、情報通信技術が一層発展していく、これからの社会において不可欠な力を身に付けるための教育です。

これまでは、「プログラミングなんて、専門の人がやるんじゃないの」との考え方もありましたが、今や、AIは、私たちの生活の中の様々なものに活用されています。全ての人のすぐそばに「AI」が使われていますし、今後一層私たちの生活の中に入ってくることは間違いありません。「AIに使われる」のではなく、「AIを使いこなす」ことで、自分自身の生活を豊かにする力を身に付ける必要があります。

吉尾小学校でも、これまでプログラミング教育に取り組んできましたが、先日、「NPO法人HITOプロジェクト」の前原さんをお招きして、プログラミング教育を行いました。

子どもたちは、コンピューターが内蔵された車を自分の思い通りに動かすために、「命令」を入力します。予想と違った動きをした時には「なぜだ？」と疑問を持ち、「命令」を考えなおしていきます。まさに、コンピューターを思い通りに動かすための考え方を学んでいきました。



遠く離れた学校と交流 オンライン授業を行いました

「その場に居ながらにして、遠く離れた学校の子どもたちと、顔を見ながら交流する。」

以前なら考えられなかったことですが、現在は簡単に行うことができます。

先日、天草郡苓北町の富岡小学校とオンライン授業で交流しました。（富岡小は、永田前校長先生が現在勤務されている学校です。）

富岡小の子どもたちの顔も見えていますし、吉尾小の子どもたちの顔も富岡小に見えています。会話も普通に行うことができます。お互いの町の「まつり」について情報交換を行いました。すぐ近くにいる、話し合っているような感覚でした。情報通信技術の発展を実感しました。



・・・子どもたちの「見守り」にご協力下さい・・・

地域の皆様には、普段から子どもたちにお声かけいただくなど、見守りをさせていただきありがとうございます。年末年始には、吉尾地区以外からも人が来られることも考えられます。また、車も増えると思います。子どもたちの安全のために、地域の皆様の更なる見守りのご協力をお願いいたします。